地 域 概 況・環 境 現 況 調 査 結 果

1. 地域の概況

(1)位置·地勢

本市は、兵庫県のほぼ中央部に位置し、北部は養父市・豊岡市、南部は神河町、東部は丹波市・多可町・京都府、西部は宍粟市に接しています。

市域は、南北約32km、東西約24kmの範囲に広がり、総面積は403.06km²で県全体の4.8%を占めています。日本海へ流れる円山川や瀬戸内海に流れる市川などの源流地域で兵庫県の南北の分水嶺に位置し、市域の約84%が森林に覆われた自然豊かな地域です。

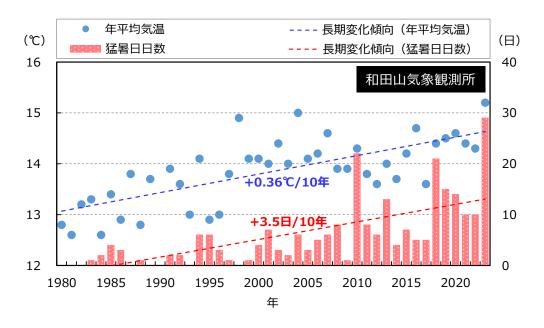


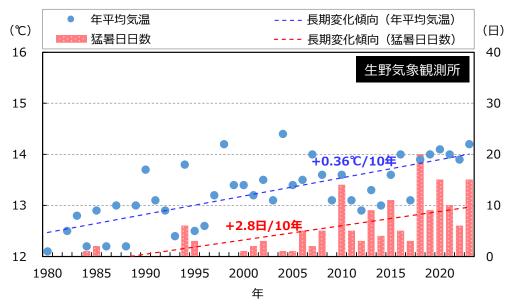
お人いの位置

(2)気象

①気温

市内の和田山気象観測所及び生野気象観測所における 1980 年以降の年平均気温及 び猛暑日(日最高気温が 35℃以上の日)日数の長期変化傾向を見ると、ともに増加傾 向で推移しています。



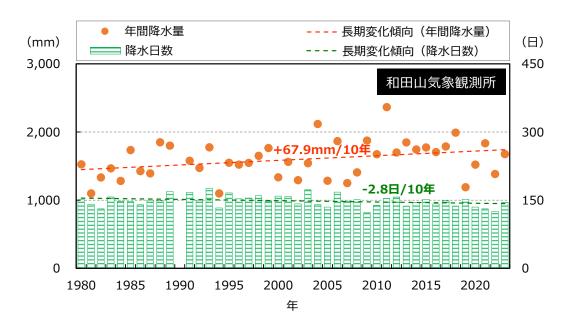


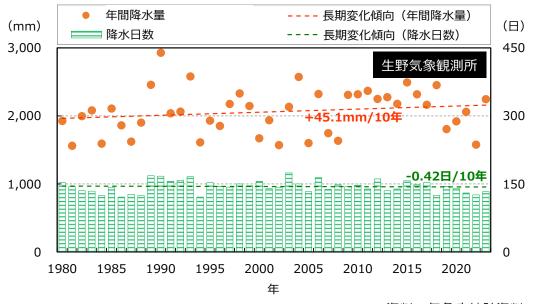
資料:気象庁統計資料

年平均気温及び猛暑日日数の推移

②降水量

市内の和田山気象観測所及び生野気象観測所における 1980 年以降の年間降水量及び降水日数の長期変化傾向を見ると、降水日数が減少傾向で推移する一方で、年間降水量は増加傾向で推移しています。



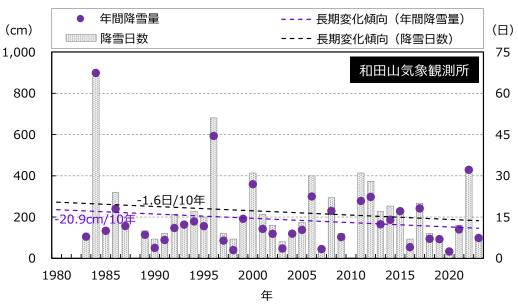


資料:気象庁統計資料

年間降水量及び降水日数の推移

3降雪量

市内の和田山気象観測所(生野気象観測所では観測対象外)における 1980 年以降の年間降雪量及び降雪日数の長期変化傾向を見ると、ともに減少傾向で推移しています。

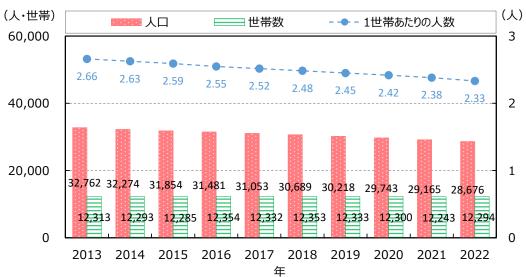


資料:気象庁統計資料

年間降雪量及び降雪日数の推移

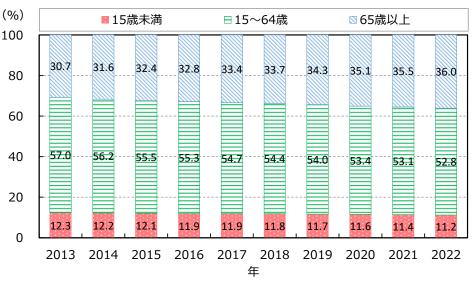
(3)人口·世帯数

本市の人口及び世帯数は、2022 年でそれぞれ 28,676 人、12,294 世帯となっており、人口は減少傾向、世帯数は概ね横ばいで推移しています。1 世帯あたりの人数は、2022 年で 2.33 人となっており、減少傾向で推移していることから、核家族化や単身世帯化が進行しています。



資料:住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査 人口及び世帯数の推移

また、本市の人口の年齢階級別構成比は、15歳未満及び15~64歳が減少傾向で推移する一方で、65歳以上が増加傾向で推移していることから、少子高齢化が着実に進行していることがうかがえます。

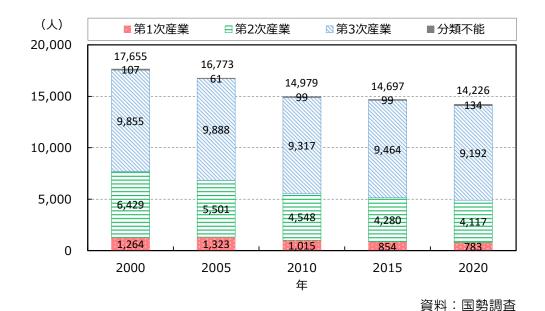


資料:住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査 人口の年齢階級別構成比の推移

(4)産業

①産業別就業者数

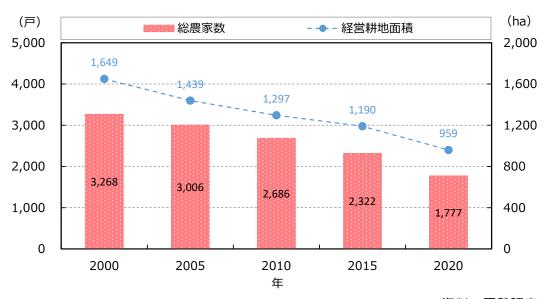
本市の就業数は、2020年で14,226人となっており、減少傾向で推移しています。 その内訳を見ると、第3次産業が9,192人で最も多く、次いで第2次産業が4,117人、第1次産業が783人などとなっています。



産業別就業者数の推移

②農業

本市の総農家数及び経営耕地面積は、2020 年でそれぞれ 1,777 戸、959ha となっており、両者ともに減少傾向で推移しています。



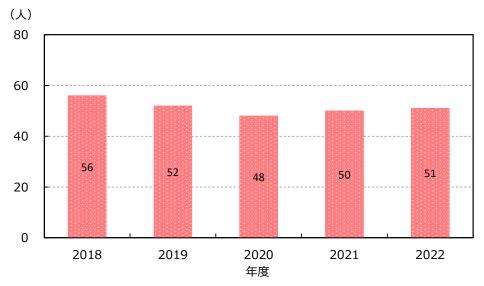
資料:国勢調査

総農家数及び経営耕地面積の推移

③林業

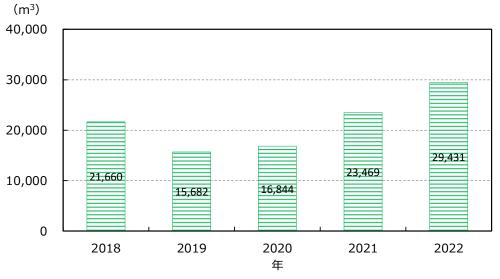
本市の林業労働者数は、2022 年度で 51 人となっており、2021 年度以降、増加傾向で推移しています。

また、本市の素材生産量は、2022 年で 29,431m³ となっており、2020 年以降、 増加傾向で推移しています。



資料:兵庫県林業統計書

林業労働者数の推移

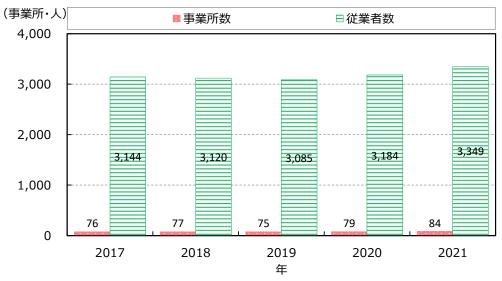


資料:兵庫県林業統計書

素材生産量の推移

4工業

本市の工業の事業所数及び従業者数は、2021年でそれぞれ84事業所、3,349人となっており、両者ともに2020年以降、増加傾向で推移しています。



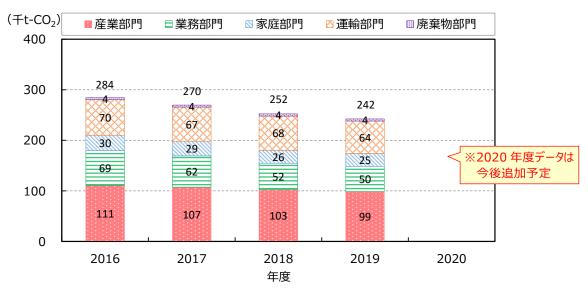
資料:工業統計調査、経済センサス-活動調査、兵庫県統計書工業の事業所数及び従業者数の推移

2. 環境の現況

(1) 脱炭素

①市域の温室効果ガス排出量

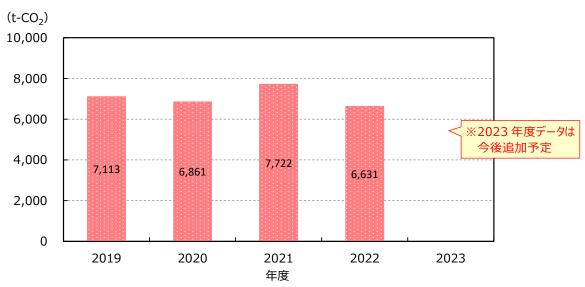
市域の温室効果ガス排出量は、2019 年度で 242 千 t- CO_2 となっています。減少傾向で推移し、2016 年度と比較すると 14.8%減となっています。部門別に見ると、業務部門が 27.4%減と最も減少しており、次いで家庭部門が 16.3%減、産業部門が 11.0%減、運輸部門が 8.6%減、廃棄物部門が 4.1%減となっています。



市域の温室効果ガス排出量の推移

②市の事務事業に係る温室効果ガス排出量

市の事務事業に係る温室効果ガス排出量は、2022 年度で 6,631t-CO₂ となっています。多少の増減はあるものの減少傾向で推移し、2019 年度と比較すると 6.8%減となっています。



市の事務事業に係る温室効果ガス排出量の推移

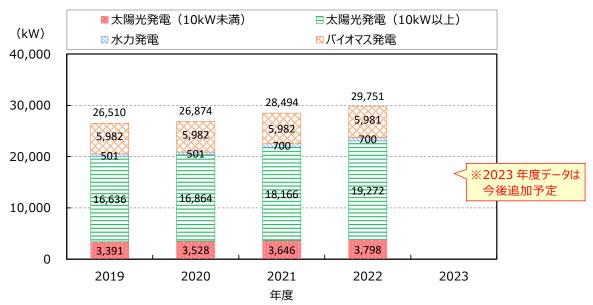
③再生可能エネルギー

本市では、公共施設への太陽光発電設備の導入を推進しています。現在、10 施設に 導入しており、累計導入容量は 169.6kW となっています。

また、市内の FIT・FIP 制度による再生可能エネルギー設備の累計導入容量は、2022 年度で 29,751kW となっています。その内訳を見ると、太陽光発電(10kW 以上)が 19,272kW で最も多く、次いでバイオマス発電が 5,981kW、太陽光発電(10kW 未満)が 3,798kW、水力発電が 700kW となっています。

公共施設への太陽光発電の導入状況(2024年7月時点)

No	施設	導入容量 (kW)
1	朝来市役所 本庁舎	10
2	朝来市役所 朝来支所	10
3	山口小学校	10
4	和田山中学校	20
5	学校給食センター	10
6	高齢者活力創造センター(旧与布土小学校)	48
7	朝来市斎場 セレモニーホールやすらぎ	30
8	あさご森の図書館 あさごエコハウス	20
9	生野交流館	10
10	竹田城跡 中腹駐車場トイレ	1.6
	合計	169.6

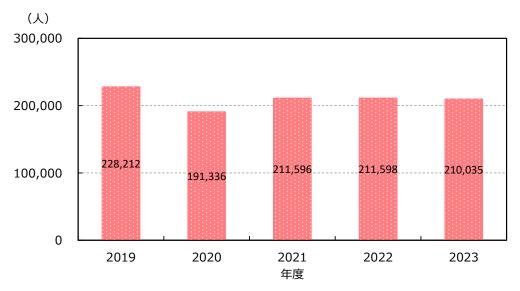


資料:再生可能エネルギー電子申請サイト 再生可能エネルギー設備の累計導入容量の推移

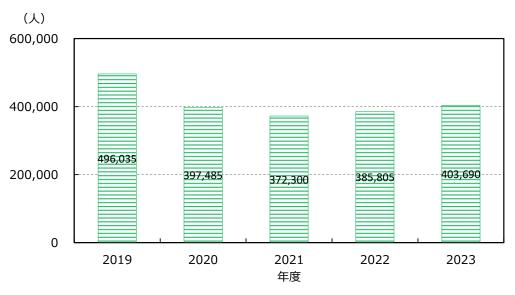
4)公共交通

市内の路線バス及びコミュニティバス(アコバス)の年間乗車人数は、2023 年度で210,035 人となっています。新型コロナ感染症の影響もあり、2020 年度に大きく減少した後、緩やかな回復傾向で推移していますが、2019 年度と比較すると8.0%減となっています。

また、市内の鉄道の年間乗車人数は、2023 年度で 403,690 人となっています。路線バス及びコミュニティバス(アコバス)と同様に、2020 年度に大きく減少した後、緩やかな回復傾向で推移していますが、2019 年度と比較すると 18.6%減となっています。



路線バス及びコミュニティバス(アコバス)の年間乗車人数の推移



鉄道の年間乗車人数の推移

(2)自然共生

①希少野生動植物

兵庫県では、絶滅の危機にある希少野生動植物などを保全し、生物多様性を確保するため、1995年に「兵庫の貴重な自然-兵庫県版レッドデータブック-」を作成しています。その後、蓄積された新たな生物情報を基に、2013年に鳥類、2014年に貝類・その他無脊椎動物、2017年に哺乳類・爬虫類・両生類・魚類・クモ類、2022年に昆虫類について改訂された新たなレッドリストが公表されています。また、2020年に植物・植物群落について改訂された新たなレッドデータブックが公表されています。

同資料の県内分布記録に本市が含まれている希少野生動物は 174 種、希少野生植物は 114 種となっています。

	兵庫県版	兵庫	県版レッドリストの県内分布記録に
区分	レッドリスト		本市が含まれている種
	掲載種数	種数	種名
哺乳類	18	10	ニホンモモンガ、ヤマネなど
鳥類	153	57	コウノトリ、クマタカなど
爬虫類	9	4	シロマダラ、ニホンイシガメなど
 両生類	18	11	オオサンショウウオ、ヒダサンショウウオ
- 四土規	10	1 1	など
魚類	56	12	スナヤツメ南方種、キタノメダカ(ハイブ
無規	50	12	リッド集団)など
昆虫類	281	68	ウスイロヒョウモンモドキ、クロシジミなど
クモ類	41	5	タジマホラヒメグモ、シノビグモなど
貝類	153	7	ココロマイマイ、ビロウドマイマイなど
その他	65	0	
無背椎動物	00	0	_
合計	791	174	_

市内における希少野生動物の確認状況





コウノトリ

オオサンショウオ

市内における希少野生植物の確認状況

区分	兵庫県版 レッドデータ ブック	兵庫県	版レッドデータブックの県内分布記録に 本市が含まれている種
	掲載種数	種数	種名
維管束植物 (シダ植物)	98	15	ヒロハハナヤスリ、ヤシャゼンマイなど
維管束植物 (種子植物)	711	89	ムカゴソウ、スズメノハコベなど
蘚苔類 (苔類)	50	4	タカキクラマゴケモドキ、コオイフタマタ ゴケなど
蘚苔類 (蘚類)	92	2	チヂレタチゴケ、トガリバイチイゴケ
藻類 (淡水藻類)	33	0	_
藻類 (海藻類)	14	0	_
菌類	44	4	マツタケモドキ、オオムラサキアンズタケ など
合計	1,042	114	_

②外来生物

市内では、アライグマやヌートリア、オオキンケイギクなど、特定外来生物の生息・ 生育が確認されています。



アライグマ



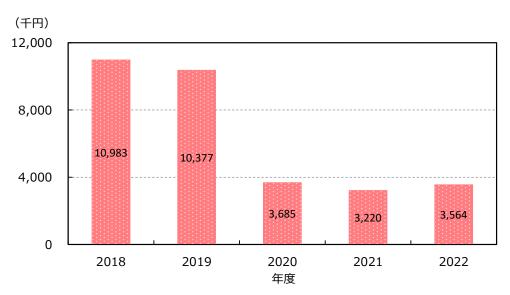
オオキンケイギク

資料:環境省ホームページ

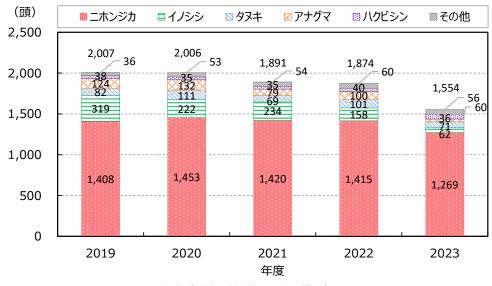
③有害鳥獣

市内では、イノシシやニホンジカなど、有害鳥獣による農林業被害が発生しています。 被害額は、2022 年度で 3,564 千円となっており、2020 年度に大きく減少した後、 概ね横ばいで推移しています。

また、有害鳥獣の捕獲頭数は、2023 年度で 1,554 頭となっており、減少傾向で推移しています。その内訳を見ると、ニホンジカが 1,269 頭で圧倒的に多くなっています。



有害鳥獣による農林業被害額の推移



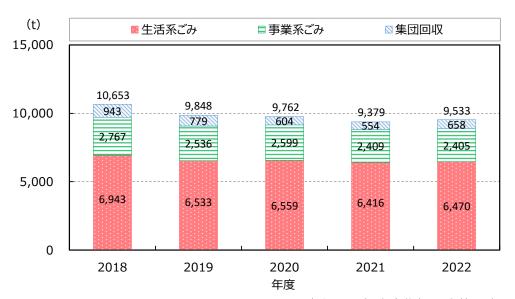
有害鳥獣の捕獲頭数の推移

(3)資源循環

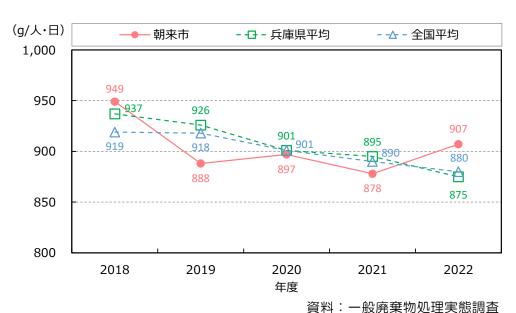
①ごみ排出量

本市のごみ排出量は、2022 年度で 9,533t となっています。減少傾向で推移していましたが、2022 年度に増加傾向に転じ、2018 年度と比較すると 10.5%減となっています。種類別に見ると、生活系ごみが 6.8%減、事業系ごみが 13.1%減、集団回収が 30.2%減となっています。

また、本市の1人1日当たりのごみ排出量は、2022年度で907g/人・日となっています。多少の増減はあるものの減少傾向で推移していましたが、2022年度に増加に転じています。2019年度以降、兵庫県平均及び全国平均よりも少ない水準で推移していましたが、2022年度には多い水準となっています。

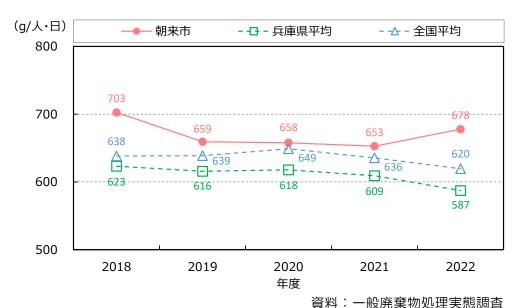


資料:一般廃棄物処理実態調査 ごみ排出量の推移



日本・一般先来初処理夫 1人1日当たりのごみ排出量の推移

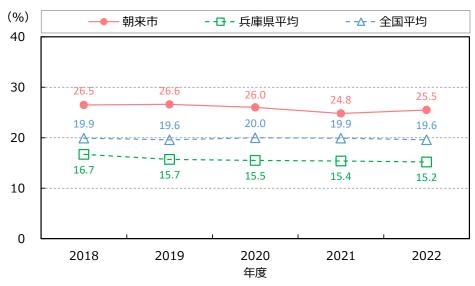
さらに、本市の 1 人 1 日当たりの生活系ごみ排出量及び集団回収量は、2022 年度で 678g/人・日となっています。減少傾向で推移していましたが、2022 年度に増加に転じています。兵庫県平均及び全国平均よりも高い水準となっています。



1人1日当たりの生活系ごみ排出量及び集団回収量の推移

②リサイクル率

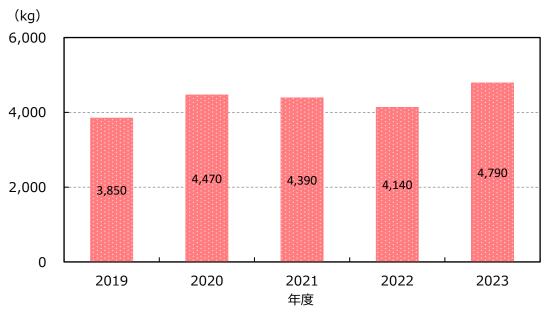
本市のリサイクル率は、2022 年度で 25.5%となっており、2021 年度まで多少の 増減はあるものの減少傾向で推移していましたが、2022 年度に増加に転じています。 兵庫県平均及び全国平均よりも高い水準となっています。



資料:一般廃棄物処理実態調査 リサイクル率の推移

③不法投棄ごみ

本市では、シルバー人材センターと連携した不法投棄パトロールを日常的に行っております。不法投棄ごみの回収量は、2023年度で4,790kgとなっており、多少の増減はあるものの増加傾向で推移しています。



不法投棄ごみの回収量の推移

(4)健全·快適

①大気質

市内には一般環境大気測定局が設置されていませんが、周辺の丹波市及び豊岡市では、 兵庫県による二酸化窒素(NO₂)、浮遊粒子状物質(SPM)、微小粒子状物質(PM2.5) などの常時監視が行われており、全て環境基準を達成しています。

二酸化窒素 (NO₂) の測定結果

נחוב		理培甘淮		測定	a 結果(ppr	n)	
/ 川人	E/D	環境基準	2018	2019	2020	2021	2022
丹波市	柏原	0.06 以下	0.010	0.009	0.008	0.007	0.007
豊岡市	市役所	0.06 以下	0.005	0.006	0.009	0.008	0.008

注) 測定結果は、日平均値の年間 98%値を示します。

資料:兵庫県環境白書

浮遊粒子状物質 (SPM) の測定結果

) hii ci		理控甘淮		測定約	結果(mg/	m³)	
測定局		環境基準	2018	2019	2020	2021	2022
丹波市	柏原	0.1 以下	0.054	0.043	0.045	0.035	0.025
豊岡市	市役所	0.1 以下	0.051	0.036	0.038	0.027	0.029

注)測定結果は、日平均値の年間2%除外値を示します。

資料:兵庫県環境白書

微小粒子状物質(PM2.5)の測定結果《その1》

治元		環境基準		測定約	結果(μg/	m³)	
八八八	測定局		2018	2019	2020	2021	2022
丹波市	柏原	15 以下	9.5	8.0	7.5	5.8	6.4
豊岡市	市役所	15 以下	12.9	10.6	10.0	8.9	9.0

注) 測定結果は、年平均値を示します。

資料:兵庫県環境白書

微小粒子状物質(PM2.5)の測定結果《その2》

	\aligned \a		環境基準		測定約	詰果(μg/	m³)	
	測定局		以以至华	2018	2019	2020	2021	2022
	丹波市 柏原		35 以下	27.2	23.3	22.9	15.5	17.9
	豊岡市	市役所	35 以下	29.5	24.8	23.9	19.3	19.2

注) 測定結果は、日平均値の年間 98%値を示します。

資料:兵庫県環境白書

②水質

市内を流れる市川の 1 地点、円山川の 2 地点において、兵庫県による生物化学的酸素要求量(BOD)や浮遊物質量(SS)などの測定が毎年度行われていますが、全地点で環境基準を達成しています。

生物化学的酸素要求量(BOD)の測定結果

河川	測定地点	環境基準		測定結果(mg/L)				
	测足地黑	類型	基準値	2018	2019	2020	2021	2022
市川	真弓橋	Α	2 以下	0.5	0.7	0.8	0.5	<0.5
miliii	多々良木橋	Α	2 以下	0.8	0.8	0.8	<0.5	<0.5
円山川	玉置橋	А	2 以下	0.5	0.6	0.9	0.6	0.9

注 1) 測定結果は、年間 75%値を示します。

表 2) 表中の「く」は定量下限値未満であることを示します。

資料:兵庫県環境白書

浮遊物質量 (SS) の測定結果

श्चाम	測定地点	環境基準		測定結果(mg/L)					
	河川	浏集地点	類型	基準値	2018	2019	2020	2021	2022
	市川	真弓橋	Α	25 以下	1	1	<1	<1	<1
	malala	多々良木橋	Α	25 以下	1	<1	<1	<1	<1
	円山川	玉置橋	Α	25 以下	2	3	2	1	2

注 1) 測定結果は、年平均値を示します。

表 2) 表中の「く」は定量下限値未満であることを示します。

資料:兵庫県環境白書

③騒音

市内の主要道路において、自動車騒音の測定を行っていますが、全地点で環境基準を達成しています。

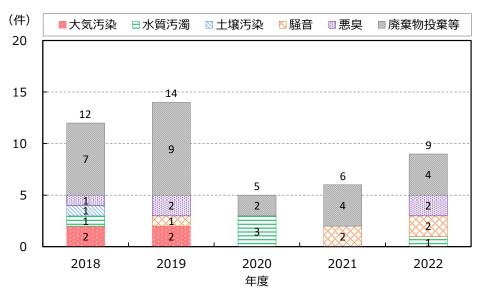
自動車騒音の測定結果

测宁生产	训中地。	5	時間	環境基準	測定結果
測定年度	測定地與	₼	区分	(dB)	(dB)
		和田山町牧田	昼間	70	69
		和田田町牧田	夜間	65	63
2018	 一般国道 312 号	多々良木	昼間	70	67
	一阪国連3125	多个民小	夜間	65	61
		羽渕	昼間	70	67
		20次)	夜間	65	62
	一般国道 312 号	八代	昼間	70	66
2019	(播但有料道路)	7 (1 (夜間	65	60
2019	一般国道 427 号	山東町末歳	昼間	70	62
	一放图道 421号	山米町木麻	夜間	65	54
2020	化分泌电图与部市分	£0.00 1.00 #hz 00	昼間	70	63
2020	北近畿豊岡自動車道 	和田山町牧田 	夜間	65	46
2021	県道物部養父線	和田山町寺谷	昼間	70	70
2021	宗坦彻即食人稼		夜間	65	63

資料: 兵庫県環境白書

4公害苦情件数

本市の公害苦情件数は、2022 年度で 9 件となっており、概ね横ばいで推移しています。その内訳を見ると、廃棄物投棄等が 4 件で最も多くなっています。



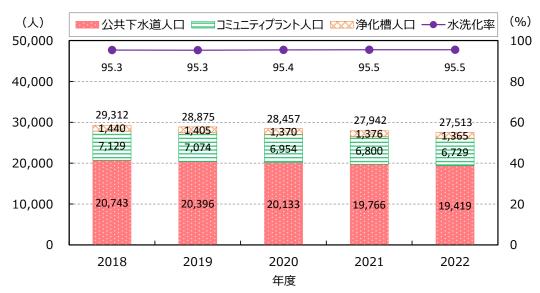
資料:兵庫県環境白書

公害苦情件数の推移

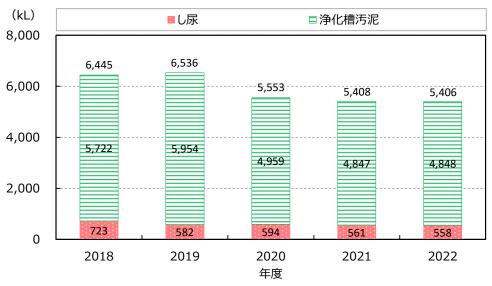
⑤生活排水処理

本市の水洗化人口及び水洗化率は、2022年度でそれぞれ27,513人、95.5%となっています。人口減少の影響に伴って水洗化人口も減少傾向で推移する一方で、水洗化率は増加傾向で推移しています。水洗化人口の内訳を見ると、公共下水道人口が19,419人で最も多く、次いでコミュニティプラント人口が6,729人、浄化槽人口が1,365人となっています。

また、本市のし尿・浄化槽汚泥排出量は、2022 年度で 5,406kL となっています。 多少の増減はあるものの減少傾向で推移し、2018 年度と比較すると 16.1%減となっています。 でいます。種類別に見ると、し尿が 22.8%減、浄化槽汚泥が 15.3%減となっています。



資料: 一般廃棄物処理実態調査 水洗化人口及び水洗化率の推移



資料: 一般廃棄物処理実態調査 し尿・浄化槽汚泥排出量の推移

⑥文化財

市内には、現在、国指定文化財等が 21 件、県指定文化財等が 37 件、市指定文化財 等が 141 件存在し、適正な保護・管理を行っています。

国指定文化財等(2024年4月時点)

No		種別	名称
1		建造物	赤淵神社本殿
2		建坦彻	神子畑鋳鉄橋
3		 考古資料	但馬城ノ山古墳出土品
4	指定文化財 指定文化財	ち口貝科	兵庫県茶すり山古墳出土品
5	相定文化规	 史跡	竹田城跡
6		文勋	茶すり山古墳
7	<u></u>	 天然記念物	糸井の大カツラ
8			八代の大ケヤキ
9			旧海崎医院
10			桑田家住宅
11			日下旅館
12			松本家住宅母屋
13	登録文化財	有形文化財	佐藤家住宅別邸
14	豆啄人10別	(建造物)	今井家住宅
15			旧吉川家住宅(生野まちづくり工房井筒屋)
16			綾部家住宅
17			旧木村酒造場
18			日下家住宅
19	選定文化財	重要文化的景観	生野鉱山及び鉱山町の文化的景観
20	ᄩᄞᆂᅅᆥᆔᆖ	: H/m	オオサンショウウオ
21	- 特別天然記念物 		コウノトリ



神子畑鋳鉄橋 (国指定文化財:建造物)



竹田城跡 (国指定文化財:史跡)

県指定文化財等(2024年4月時点)

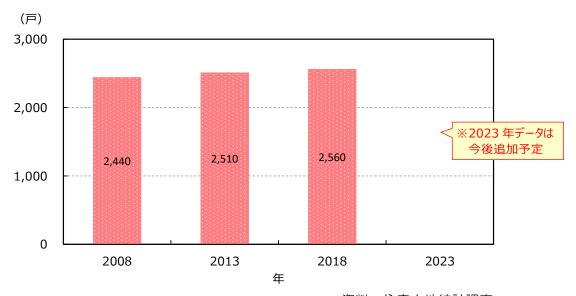
	区分	名称	件数
	建造物	石造宝篋印塔、大同寺開山堂など	7
	絵画	絹本墨画白衣観音図、絹本著色仏涅槃図など	4
	工芸品	金蔵寺銅鐘、鰐口など	3
	彫刻	木造薬師如来坐像、金銅菩薩立像など	4
指定文化財	歴史資料	明神電車電気機関車(一円電車)	1
	考古資料	金銅装頭椎太刀、春日古墳出土遺物一括など	4
又记知	史跡	小丸山古墳、船宮古墳など	3
	名勝	円明寺庭園、護念寺庭園など	2
	天然記念物	延応寺大ケヤキ、ウツギノヒメハナバチ群生地	2
	有形民俗文化財	表米神社相撲桟敷、旧井上家住宅(歴史民俗資料館)	2
	無形民俗文化財	寺内ざんざか踊り	1
登録	建造物	大歳神社、東西寺など	4
文化財)) (注)	八風中化、木四寸なし	4
		合計	37

市指定文化財等(2024年4月時点)

区分		名称	件数
指定文化財	建造物	生野鉱山正門門柱、金香瀬坑口など	23
	絵画	明治初年の生野町絵図、但州生野銀山絵巻など	17
	工芸品	成徳旗、浅田貞次郎翁銅像など	10
	彫刻	大用寺十六羅漢、石造延命地蔵菩薩像など	21
	歴史資料	灰吹銀、但馬南鐐など	13
	考古資料	金梨山古墳出土装身具、大同寺観音山出土陶棺など	7
	古文書	銀山旧記、掛屋市兵衛御用留日記など	19
	史跡	延応寺、生野城跡など	9
	天然記念物	断層と鉱脈、大将軍スギなど	12
	有形民俗文化財	見石飾幕(3件)	3
	無形民俗文化財	生野踊り、宮神楽など	7
合計			141

⑦空き家

本市の空き家数及び空き家率は、2018年でそれぞれ 2,560戸、18.3%となっており、両者ともに増加傾向で推移しています。空き家率は、兵庫県平均及び全国平均よりも高い水準で推移しています。



資料: 住宅土地統計調査 空き家数の推移

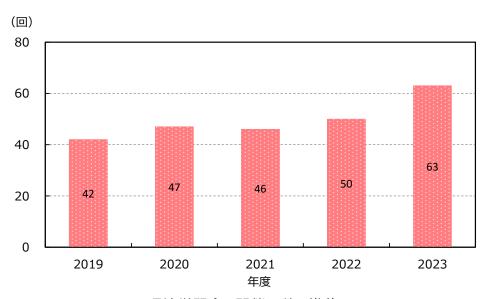


· 資料:住宅土地統計調査 空き家率の推移

(5)共創力

①環境学習

本市では、地域や学校等で環境学習会を開催しています。その開催回数は、2023 年度で 63 回となっており、多少の増減はあるものの増加傾向で推移しています。



環境学習会の開催回数の推移



川の生物観察会



マイエンザ環境授業